

とやま ゼミナール



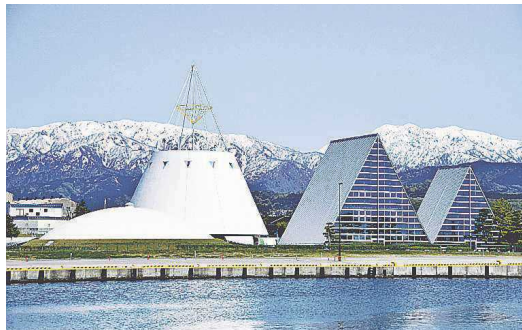
蜃気楼のふしぎ④

蜃気楼の見える街

日本蜃気楼協議会長 きのした まさひろ 木下 正博

魚津市は「蜃気楼の見える街」として、古くから全国的に有名です。その理由は、黒部から射水方向を広く見渡せるからです。また歴史では、1698(元禄11)年に書かれた上杉家の軍記「北越軍談」に、1564(永禄7)年の5月下旬～6月中旬に上杉輝虎(後の上杉謙信)が、魚津で蜃気楼を見たという記録が残されています。実際に見たかどうかは定かではありませんが、江戸時代には魚津が蜃気楼で有名だったことは確かでしょう。

展望地に、魚津埋没林博物館があります。ここは、埋没林の保存と展示、そして蜃気楼をテーマとした博物館です。館内の蜃気楼コーナーには解説や実験装置のほか、全国の蜃気楼に関する情報や写真、歴史的な資料などが数多く展示されています。常設の300坪のフルハイビジョンホールでは、追



魚津埋没林博物館

【埋没林博物館にコーナー】

魚津港に隣接した蜃気楼

魚津は全国的な名所

力満点の蜃気楼映像を楽しむことができます。さらに、建物の周辺には3台のライブカメラが設置されており、その映像はリアルタイムでインターネットに公開されています。同博物館では、蜃気楼の発生をメールで知らせる無料サービスも行っているため、ライブカメラと併用すると効率よく蜃気楼を楽しむことができます。

【絶好の観測地点】

同博物館の隣りに、観光施設「海の駅 蜃気楼」があります。ここには200台あまりの駐車スペースがあり、周囲が海に面した堤防であることから、蜃気楼を見る絶好の場所の一つといえます。蜃気楼のシーズン中には、魚津市から委嘱された解説員や魚津蜃気楼研究会の会員が見つけ方のポイントなどを現地で優しく教えてくれるので、初めて見に来た人でも十分に楽しむことができます。



魚津から撮影した船の上位蜃気楼(日本蜃気楼協議会提供)



海の駅 蜃気楼

蜃気楼を運良く見ることができた場合、魚津市観光協会では「蜃気楼を見た証明書」を発行しています。この証明書を受け取るには特別な手続きは必要なく、発生した日に魚津埋没林博物館の受付に行けば、無料で発行してもらえます。

☆毎週火曜日に掲載します